



5つのCGスポットで楽しめる!!

CG再現 小牧山城

信長築城当時の本来の高さの石垣や現在の風景と重ね合わせた音声解説付きの映像をご覧ください。整備によって現代に蘇った迫力ある石垣をぜひ体験してみませんか。



▲現地で見えない映像を一部公開!



問合先 小牧山課 (☎76 - 1623)

小牧山城の石垣 残存状況と本物を重視した復元

発掘調査で見つかった小牧山城の石垣は、名古屋城築城時の石材の運び出しや自然崩落により、大部分が根石とその上段の数石のみが残存している状況でしたが、裏込石の残存状況から、築城当時の石垣の高さをおおよそ推定できました。

しかしながら整備では本来の石垣を見せることを重視し、推定される当時の高さではなく、発掘調査で確認できた最も高い位置までの復元にとどめ、残りは盛土と植栽で表示しています。

令和8年度 会計年度任用職員【遺物整理員】を募集

発掘調査の出土品や図面等の整理作業を行う仕事です。

- 【任用期間】 8月1日(土)~令和9年3月31日(水)
- 【勤務場所】 民俗資料保存施設(堀の内1-50)
- 【定員】 1人
- 【申込】 必要事項および「遺物整理員希望」を記入した履歴書(写真貼付(7月10日(金)必着))
- 【面接日】 7月16日(木)
- 【問合先】 文化財課(☎76 - 1189)



史跡

小牧山と 歩むまち

史跡小牧山主郭地区石垣等
整備工事完了

市教育委員会では、平成十六年度から
史跡小牧山主郭地区（小牧山歴史館周辺）の
発掘調査を行い、その成果を基に
令和三年度から織田信長が築いた石垣等の
復元を行ってきましたが、五年目となる
令和七年度の整備工事をもって
いよいよ完了しました。



信長から徳川へ 小牧山城の2つの時代と遺構復元

小牧山城の歴史は2つの時期に分かれます。第1期は永禄6年（1563）に織田信長が清須から移城し、岐阜へ移るまでの4年間です。第2期は天正12年（1584）の小牧・長久手の合戦で、徳川軍が信長の城を大規模に改修して陣城とした時期です。

歴史館周辺の整備では、発掘調査で見つかった信長時代の2～3段の石垣、排水用の玉石敷遺構や石柵遺構、山頂主郭へ至る大手道、その山側の岩盤上に築かれた石垣、そして広範囲の玉石敷と立石からなる「枯山水」のような庭園跡などを復元しました。

